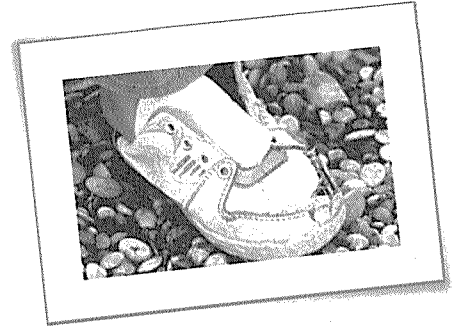


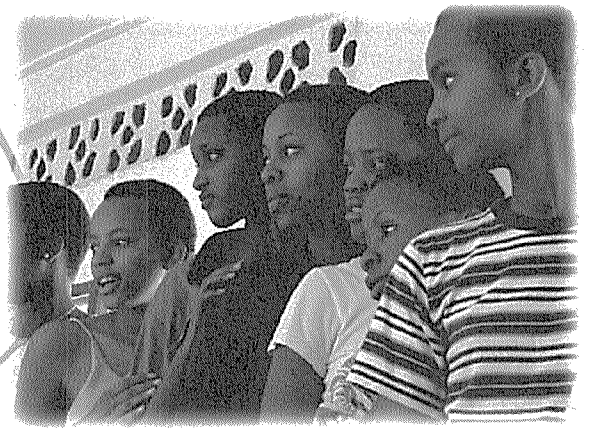
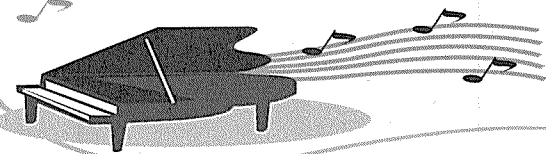
地球のステージ

番外篇 スペシャル

2011 **2/6**
Sunday



- オープニング 曲「世界の片隅から」
- アフガニスタン篇 曲「陽炎」
- 南アフリカ篇 曲「アフリカ」
- ルワンダ篇 曲「あしたへ」
- 旧ユーゴスラビア篇 曲「国境に咲く花」
- 国境難民キャンプ篇 曲「アジア・ハイウェイ」
- 故郷篇 6 曲「君がいて僕がいる」



- ◆ 日 時 2011年2月6日(日) 13:30~15:30
- ◆ 会 場 名取市文化会館 中ホール (400名)
(名取市増田字柳田 520 Tel 022-384-8900)
- ◆ 案内役 桑山紀彦さん/語り・歌・ギター
- ◆ 入場料 1000円 FaxやE-mail、電話等で
事前の申し込みをお願いします
・・・定員になり次第締め切ります
- ◆ 後 援 日本ユニセフ協会宮城県支部
- ◆ 主 催 地球のステージ仙台グループ
Tel 090-7339-5068 Fax 022-246-1520
E-mail e-igarashi@giga.ocn.ne.jp



地球のステージ 番外篇

かつて語ってきたのに今は語らなくなってしまった国や人々、そしていまだ語ったことのない「心のうち」

■オープニング 曲「世界の片隅から」(ハイビジョン映像)

■アフガニスタン篇 曲「陽炎」

～アフガン空爆直後の救援活動で出逢った子どもたち。大人たちにチェスを挑むザーフェル。避難民キャンプで水タンクを鳴らしながら歌う小さな姉妹。「残った食べ物をもらうことは卑しいことじゃない」と言った少女。

■南アフリカ篇 曲「アフリカ」

～黒人居住区で暮らす人々。「僕たちの先生にお給料を払ってくれないかなあ」と言った小学生の子どもたち。ソウェトで福祉施設を営むゴッドマザーの風格のピンキー先生。

■ルワンダ篇 曲「あしたへ」

～ツチ族、フツ族間の憎しみ合いの中で起きた大虐殺。そこを生き抜いた高校生たちが繰り広げる合唱。そこには「私たちが伝えていかなくて、誰が伝える」という強い意志があった。そして19歳のボナの夢は「エンジニアになること」。それはITなどのシステムエンジニアではなく、建設のエンジニア。「ちゃんと目に見える、道路、橋、そして学校を作れる人になりたいんだ！」 憎しみの連鎖を断ち切ろうとする高校生たち。

■旧ユーゴスラビア篇 曲「国境に咲く花」

～「ステージ1」の定番であった「旧ユーゴスラビア篇」。「ぼろぼろの靴」を見た山形の小学生の感想。「心だけは傷つけられたくない」と絵を描いたニーナが27歳になって今を生きる。彼女は現在どうしているのか…。

■国境難民キャンプ篇 曲「アジア・ハイウェイ」

～タイ国境のカンボジア人難民キャンプ「カオイダン」。リー・ブンダラーは難民キャンプの最後の出国枠に合格して日本へ。今も神奈川県に暮らす。日本名「住友正人」を名乗るブンダラーの心の内とは…。

■故郷篇6 曲「君がいて僕がいる」(鶴岡一中の生徒会ソングとして桑山が創った曲)

～心躍らせ入局した「山形大学医学部精神神経科医局」。そこに待っていたのはいじめの構図。その人がいないところで集団で悪口を言い孤立させる手法はまさに「紛争発生 of 構図」そのもの。そこからの脱出。上山病院に拾われ医者としての活路を見つけるものの、次第に勤務時間が減少。イラン震災救援を機に「非常勤の医者でいい!」と、心が決まる。そして、独立開業への路。桑山の医師としての23年の総集編 人生は自らの意志で決めていくもの。くよくよしないで、文句ばかり言わないで、自分で次の一手を決めていこう!というメッセージ。

°. . . : * . . ☆ ° **チケット申し込み** . : * . . ° . . ☆ ° ■ FAX 022-246-1520

切り離さずにファックスしてください

E-mail e-igarashi@giga.ocn.ne.jp

チケット枚数	枚 ※ お申し込みの後、チケットと郵便振替用紙をお送りします
お名前	
ご住所	〒
電話番号	(連絡可能な番号 ケータイなど)
FAX	

※ご記入の情報は「地球のステージ」のご案内のみに使用します